事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後　平成　21　年　3　月　26　日　作成
20年度決算把握後　平成　21　年　5　月　20　日　作成

事務事業名	総合賠償補償保険事業	□ マニフェスト関連	□ 全庁横断課題関連	□ 集中改革プラン関連

総合計画体系			所属部	総務企画部	課長名	後藤一男
政　策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属課	総務課	担当者名	遠坂未来子
施　策	24	行財政改革の推進	所属班	総務・男女共同参画班	（内線）	1218
基本事業	87	健全な財政計画の策定	法令根拠			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番				
	1	2	1	1	11109	□ 20年度で終了	□ 21年度から開始	成果優先度評価結果 12	コスト削減優先度評価結果 6

事業期間　□ 単年度のみ　☑ 単年度繰返（開始年度　18　年度）　□ 期間限定複数年度（　　～　　年度）

事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】
市が所有・使用・管理する施設に原因がある事故や、市の業務遂行上の過失による事故について、その損害を補償する総合賠償補償保険に伴う事務事業。
【業務の流れ】
保険期間は平成20年6月1日午前0時から平成21年5月31日午後12時までの1年間。
5月に加入手続き、加入金の支払いをおこなう。
事故が発生した場合、町村会に保険の対象になるかどうかの問い合わせを行い、対象になる場合は町村会を介して保険会社と連絡を取り事務手続きを行う。
【主な予算費目】
役務費

1　現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

20年度実績（20年度に行った主な活動）（DO）
賠償件数　4件
賠償額　490,781円
（ただし仮示談が1件あるため、治療完了後に支払う額を含んでいない。）

21年度計画（21年度に計画している主な活動）（PLAN）
20年度と同じ。

⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）＝①の指標（単位）
⇒ ア 一人当たりの掛金　円
　 イ 保険の種類　種

② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等
事故
賠償・補償すべき金額

⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）＝②の指標（単位）
⇒ ア 事故件数　件
　 イ 請求金額　円

③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）
不慮の事故等により賠償責任を負った場合にかかる侵害賠償費用を確保する。

⑦成果指標（意図の達成度を表す指標）＝③の指標（単位）
⇒ ア 対応できた事故の件数　件
　 イ 賠償補償金額　円

④ 上位の目的（さらにどんな目的に結び付けるのか）
健全な財政計画

⑧上位成果指標（上位目的の達成度を表す指標）＝④の指標（単位）
⇒ ア 歳入財源における経常一般財源の割合　%
　 イ

(2) 総事業費・指標等の推移

区分	単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度 総トータルコスト（期間限定複数年度のみ記載）
投入量 事業費 財源内訳 国庫支出金	千円								
都道府県支出金	千円								
地方債	千円								
その他	千円								
繰入金	千円								
一般財源	千円	4,036	4,387	4,681	4,682	4,718	4,718	4,718	
（A）事業費計	千円	4,036	4,387	4,681	4,682	4,718	4,718	4,718	0
うち指定経費	千円								
うち時間外、特殊勤務手当	千円								
人件費 正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
延べ業務時間	時間	30	30	30	50	50	50	50	
(B)人件費計	千円	119	119	119	199	199	199	199	0
トータルコスト(A)＋(B)	千円	4,155	4,506	4,800	4,881	4,917	4,917	4,917	0

指標		単位	18年度	19年度	20年度目標	20年度実績	21年度	22年度	23年度	総合計画目標数値 22年度
活動指標	ア	円	77	82.1	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5	
	イ	種	3	4	4	4	4	4	4	
対象指標	ア	件	2	6	6	4	4	4	4	
	イ	円	126326	141784	141784	490781	490781	490781	490781	
成果指標	ア	件	2	6	6	4	4	4	4	
	イ	円	126326	138229	141784	490781	490781	490781	490781	
上位成果指標	ア	%								
	イ									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
合併前から、2町とも加入していた。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
数多くの個人情報を取り扱っている市において、その情報が漏えいした場合の損害を賠償する保険が出来たため、加入している。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

合志市

事務事業名	総合賠償補償保険事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課

2 評価の部(SEE)＊原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

	評価項目	評価
目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 結びついている ⇒【理由】 市が不慮の事故等により賠償責任を負った場合にかかる損害賠償費用を確保出来ることにより、健全な財政計画に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 妥当である ⇒【理由】 市民がボランティア活動等に安心して参加できる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 適切である ⇒【理由】 対象・意図とも現状で適切である。
有効性評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 向上余地がない ⇒【理由】 全国の町村会で加入している保険であるため、事業の変更はできない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ☑ 影響有 ⇒【その内容】 市民がボランティア活動等に安心して参加できなくなる。 市にとって莫大な損害賠償が発生した場合、財源が確保できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには，この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段，事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 全国の町村会で加入している保険であるため、事業の変更はできない。 ☑ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☑ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 民間の保険会社でも同様の損害賠償補償保険はあり、検討はできる。 ただし、公金総合保険については加入できるかどうか難しい。 また、市長会の同様の保険については、個人情報漏えい保険が含まれていないほか、複数の保険加入手続き
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 現在は、事故があった場合の当事者との交渉を担当課が行い、町村会とのやりとりや事務処理を総務課で行っている。 事務処理は、保険手続きの流れが分かっている総務課職員が行い、必要があれば担当課が町村会と直接連絡
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 公平・公正である ⇒【理由】 市民のための事業であり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
② 有効性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
③ 効率性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
④ 公平性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

①目的妥当性については、不慮の事故の際でも確実に損害賠償を行うという面から妥当である。
②有効性については、適切である。
③効率性については、現在の保険が適切であると考えられ、効率的である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)･･･複数選択可

☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☑ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

成果＼コスト	削減	維持	増加
向上			
維持		○	＼
低下		＼	＼

(3) 改革，改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	9	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)
(2)貢献度	11	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)

合志市